

森づくり最前線

群馬森林管理署 松井田森林事務所 首席森林官（松井田・細野） 鶴田 直人

群馬森林管理署松井田森林事務所（松井田・細野担当区）は群馬県安中市及び富岡市内の国有林野約7,600haを管轄しており、その大部分が安中市の旧松井田町にあります。

細野担当区内にはスギやヒノキを始めとした人工林が多く、造林や生産、収穫等の事業が盛んに行われています。林道も高密度に開設されており、その維持管理も欠かせません。一方、管内にはオオタカ等の猛禽類が確認されており、生息に配慮した施業も行われています。

松井田担当区内には、上毛三山の一つであり奇岩・怪石で知られる「妙義山」、某小説の舞台となった秘湯「霧積温泉」があるほか、江戸時代の「中山道」、近代以降は鉄道・国道により人の往来が盛んであった「碓氷峠」があります。天然林が広がり新緑や紅葉が美しく、ドライブやハイキングで多くの観光客が訪れます。中山道脇の史跡や茶屋跡、廃線となった「旧信越本線跡」など、自然の中に溶け込んだかつての名残を随所に感じることができます。



旧中山道の道中



妙義山

浅間山を望む当地は軽石混じりの土で、林内斜面を歩くのも大変といった現場も多くあります。このような環境ですが、立派に成林された人工林があり、先人の労苦には敬服します。「小根山森林公園」には、明治期より日本各地や外国産の樹種が植えられ試験研究が行われてきて、現在は見本林として管理されています。当地では見ない珍しい樹種も植えられており興味深いものがあります。また遊歩道が整備され、広く一般に開放された野鳥観察の森となっています。



小根山森林公園

現在、松井田森林事務所は隣の倉淵森林事務所（高崎市）との合同森林事務所となっています。協力しながら業務を進められる一方、地元（富岡市・安中市）とのつながりや対応では遠隔地ならではの課題を感じているところです。現場最前線の森林事務所として、現場や地域をよく把握すること、境界管理や林野等の巡視、各種事業の実行監督に努め、しっかりと管内国有林野を引き継いでいきたいと思っております。



植付監督中の筆者